

大阪市麻しん情報

～医療機関の皆様へ～

現在、日本は麻しんの「排除状態」にあると認定されています。しかし麻しん流行国で感染し、帰国後発症して国内で感染を伝播させる輸入事例が、現在も報告されています。

大阪市をはじめ、全国各自治体では確定診断としてウイルス遺伝子検査(PCR検査)を行っています。麻しんと臨床診断された医療機関様におかれましては、PCR検査の検体として咽頭ぬぐい液・血液・尿の3種(少なくとも2種以上)を確保していただいたうえ、管轄する保健福祉センターに届出をいただきますようお願いいたします。

検体採取方法などについて、下記のリーフレットに記載していますのでご参照ください。

また、届出基準について下記リンク先に掲載しておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

★医療機関向けリーフレットはこちら(「麻しん」「風しん」診断時の対応について)

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/cmsfiles/contents/0000005/5758/masin-fusin-iryokikan.pdf>

★届出基準・様式はこちら(五類感染症の届出基準・届出様式口)

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000014279.html#5-23>

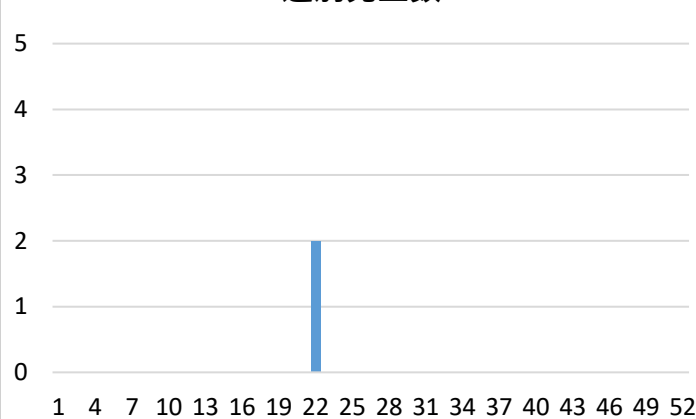
▼2023年25週の麻しん患者発生の概要

発生はありませんでした。

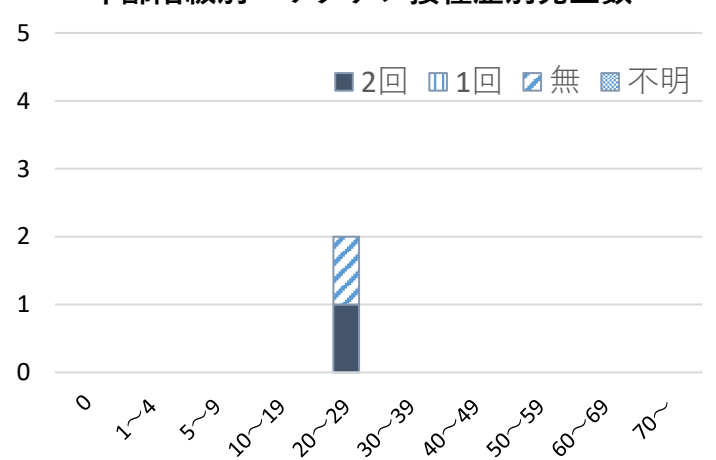
▼2023年の麻しん患者発生の概要(累積数)

| 番号 | 診断週 | 年代 | 性別 | 発症日 | 遺伝子型別 | ワクチン接種歴 | 推定感染源 |
|----|-----|------|----|-------|-------|---------|-------|
| 1 | 22 | 20歳代 | 女 | 5月20日 | 未実施 | 2回 | 不明 |
| 2 | 22 | 20歳代 | 女 | 5月23日 | 未実施 | 無 | 不明 |

週別発生数



年齢階級別・ワクチン接種歴別発生数



▼参考情報

年別発生状況

| | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年(※) |
|-----|-------|-------|-------|-------|----------|
| 大阪市 | 63 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 全国 | 744 | 10 | 6 | 6 | 19 |

(※)発行日時点の集計であり、今後変更が生じることがあります。

★麻しん(はしか)に注意しましょう

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000005758.html>